



令和7年度
地区別防災研修会

災害への備え ～令和7年度の取組～

鹿児島市 危機管理局 危機管理課

【本日の説明内容】

1 災害(風水害)の実態を知る

- (1) 本市で想定される主な災害
- (2) 過去の災害から学ぶ
- (3) 「知識」や「意識」を備える

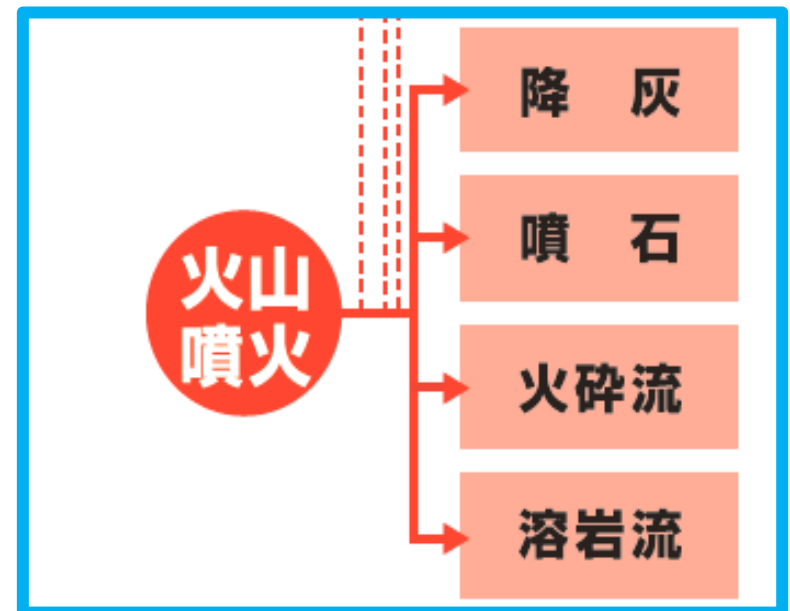
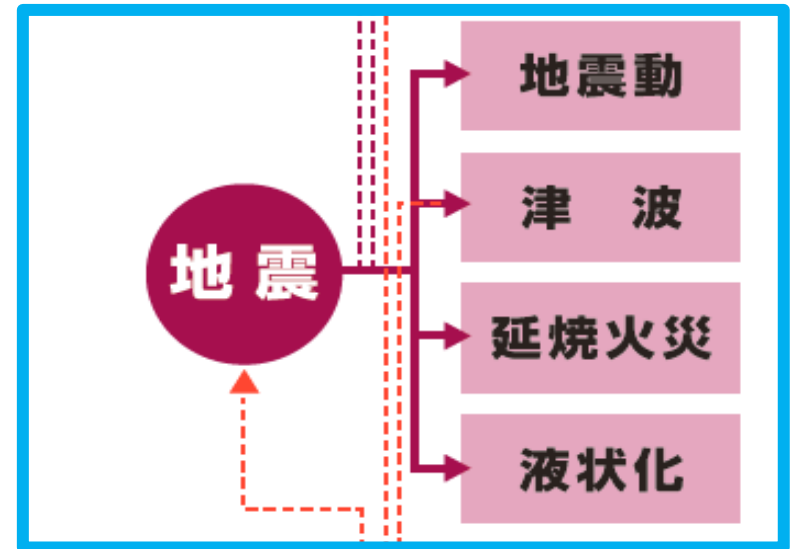
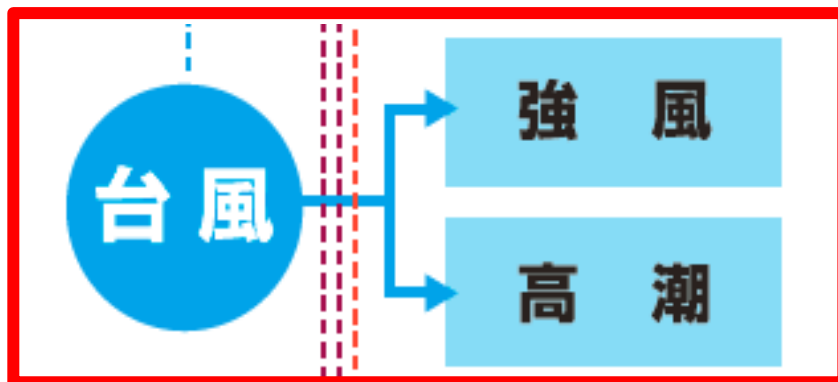
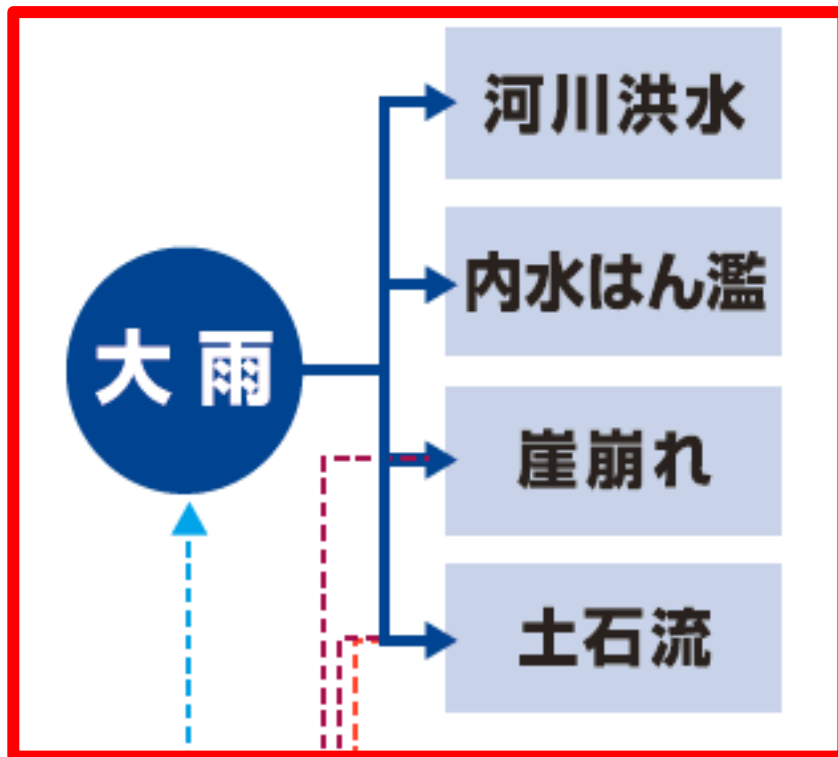
2 令和7年度 of 取組

- (1) 避難行動要支援者支援制度
- (2) 防災ラジオ
- (3) 自主防災組織

1 災害の実態を知る

(1) 本市で想定される主な災害

◆本市で想定される災害の種別



1 災害の実態を知る

(2) 過去の災害から学ぶ

8・6豪雨災害(平成5年)



土砂災害

竜ヶ水地区

8・6豪雨災害(平成5年)



土砂災害

吉野町（花倉地区）

8・6豪雨災害(平成5年)



浸水被害

天文館地区

8・6豪雨災害(平成5年)



草牟田町（甲突川）



清水町（稻荷川）

浸水被害

8・6豪雨災害・台風13号 被害の状況

○ 8・6豪雨災害 鹿児島市における主な被害

被害区分	被害量	被害区分	被害量	被害区分	被害量
死者	<u>47人</u>	住家全壊	<u>284棟</u>	住家床上浸水	<u>9,091棟</u>
行方不明者	<u>1人</u>	住家半壊	183棟	住家床下浸水	1,999棟
重傷者	8人	住家一部損壊	541棟		
軽傷者	44人				

○ 台風13号 鹿児島市における主な被害

被害区分	被害量	被害区分	被害量	被害区分	被害量
中等傷者	5人	住家全壊	13棟	住家床上浸水	<u>480棟</u>
軽傷者	20人	住家半壊	119棟	住家床下浸水	928棟
		住家一部損壊	<u>8,937棟</u>		

石川県能登地方を震源とする地震の概要

令和6年1月1日(月)16時10分に石川県能登地方を震源とするM7.6、最大震度7の地震が発生

さらに、震度6弱が1回、震度5強が7回、震度5弱が7回など多くの地震が発生各地で家屋倒壊やがけ崩れなどが起こり、多くの方が犠牲となった。

【震源地及び地震の規模等(震度5以上)】

日 時	震央地	マグニチュード	最大震度
1/1 16:06	石川県能登地方	5. 5	震度5強
1/1 16:10	石川県能登地方	7. 6	震度7
1/1 16:18	石川県能登地方	6. 1	震度5強
1/1 16:56	石川県能登地方	5. 8	震度5強
1/2 17:13	能登半島沖	4. 6	震度5強
1/3 02:21	石川県能登地方	4. 9	震度5強
1/3 10:54	石川県能登地方	5. 6	震度5強
1/6 05:26	石川県能登地方	5. 4	震度5強
1/6 23:20	能登半島沖	4. 3	震度6弱

石川県能登地方を震源とする地震の概要

人的・住家被害の状況

(令和7年3月11日時点)

都道府県	人的被害							住家被害						非住家被害		
	死者	うち 災害 関連 死	行方 不明 者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上 浸水	床下 浸水	一部 破損	合計	公共 建物	その 他	合計
				重傷	軽傷	小計										
	人	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
福島県												1	1			
埼玉県												2	2			
新潟県	5	5		11	43	54	59	109	4,122		14	20,348	24,593		68	68
富山県	3	3		14	43	57	60	259	807			21,606	22,672		1,208	1,208
石川県	541	313	2	391	876	1,267	1,810	6,115	18,517	6	5	90,955	115,598	443	36,549	36,992
福井県					6	6	6		12			820	832		10	10
長野県												21	21			
岐阜県					1	1	1					2	2		1	1
愛知県					1	1	1									
京都府												2	2			
大阪府					5	5	5									
兵庫県					2	2	2					1	1			
合 計	549	321	2	416	977	1,393	1,944	6,483	23,458	6	19	133,758	163,724	443	37,836	38,279

※内閣府ホームページより

能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況（建物の倒壊、町の様子）



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(家屋等の倒壊)



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(土石流)



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(火災)



1 災害の実態を知る

(3) 「知識」や「意識」を備える

— ポイント 1 —

身の回りの災害リスクの確認

(災害時にとるべき避難行動)

自宅の場所を確認しよう！

自宅の危険度を確認

(スマホやタブレットなどを使用)

⇒ 「自宅避難」か「自宅外避難」か判断しましょう！



かごしまiマップ(防災マップ)では、市全域の洪水浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域、指定緊急避難場所等の最新の情報を確認できます。



かごしまiマップ

検索

ー ポイント 2 ー

防災情報の入手

(災害時にとるべき避難行動)

防災情報などの入手方法を確認しましょう

○主な防災情報の入手方法を確認しよう

テレビ・ラジオ



テレビのリモコンの「d」ボタンを押すと「データ放送」の画面になり、気象情報をはじめ河川の水位などいろいろな情報を取得できます。

事前登録

鹿児島市LINE公式アカウント



事前に友だち登録したLINEのトーク画面に、避難指示等や避難所の開設などの緊急情報を通知します。



鹿児島市ホームページ



避難指示等や避難所の開設、防災行政無線の放送内容などの緊急情報をお知らせします。



事前登録

安心ネットワーク119



事前登録したメールアドレスに、災害情報や避難指示等、避難所の開設などをメールで配信します。



○防災行政無線の放送内容を確認できます

防災行政無線自動電話案内サービス



災害発生時などに防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます。

(通話料は利用者負担)

◇専用ダイヤル 099-222-7222

事前登録

防災行政無線FAX配信サービス

災害発生時などに防災行政無線で放送した避難情報の内容を、事前に登録されたFAXに配信します。

◇事前登録は、FAXかEメールで「住所、氏名(ふりがな)、電話番号、FAX番号」を危機管理課にお送りください。

◇FAX :099-226-0748

Eメール:kikikanri@city.kagoshima.lg.jp



防災情報などの入手方法を確認しましょう

○災害時に便利なアプリとWEBサイト

アプリ

避難所混雑状況情報提供システム
VACAN(バカン)

各避難所の開設状況や混雑状況を、スマートフォンやパソコンから確認でき、混雑状況も随時確認できます。



アプリ

民間事業者等による防災情報通知サービス

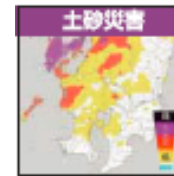
登録した地域に発表された気象情報等をプッシュ通知するサービスを活用し、いざという時の避難の判断等に生かしてください。

- ・防災アプリ等のインストール(Yahoo!防災速報 等)
- ・LINEスマート通知設定
- ・Kago Tips

WEB

気象庁ホームページ キキクル
(大雨・洪水警報の危険度分布)

「キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)」で5段階で色分けされた災害の危険度を確認できます。



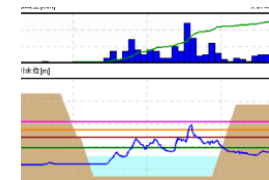
WEB

鹿児島県河川砂防情報システム

県内の雨量データ、河川の水位、土砂災害の危険度情報などを確認できます。



河川カメラ画像



時間雨量・河川水位グラフ



ー ポイント3 ー

避難情報の正しい理解

(災害時にとるべき避難行動)

避難情報のポイントを知りましょう

警戒レベル	状況	気象情報(気象庁)	鹿児島市が発令する避難情報など
5	災害発生 又は切迫 	大雨特別警報等	緊急安全確保 【命の危険 直ちに安全確保！】 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保しましょう。 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～			
4	災害の おそれ高い 	土砂災害警戒情報等	避難指示 【危険な場所から全員避難】 危険な場所から全員避難しましょう。
3	災害の おそれあり 	大雨警報 洪水警報等	高齢者等避難 【危険な場所から高齢者等は避難】 ・高齢者等は危険な場所から全員避難しましょう。 ・高齢者以外の人でも外出を控えたり、避難の準備をしたりして、自主的に 早めの避難をしましょう。
2	 気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報等	【自らの避難行動を確認】 防災ガイドマップ等により自宅等の災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認するなど、避難に備え自らの避難行動を確認しましょう。
1	今後 気象状況悪化のおそれ 	早期注意情報	【災害への心構えを高める】 最新の気象情報等に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。

令和6年度の避難指示の発令実績

日付	令和6年						発令回数	
	5/27～ 大雨	6/17～ 大雨	6/20～ 大雨		8/27～ 台風		高齢者等 避難	避難 指示
発令 地域	高齢者等 避難	高齢者等 避難	高齢者等 避難	避難指示	高齢者等 避難	避難指示		
中央	[5/17] 18:00 市内全域	[6/17] 18:00 市内全域	[6/20] 17:00 市内全域	[6/20] 18:40	[8/28] 12:00 市内全域	[8/28] 15:00 市内全域	4	2
吉野							4	2
伊敷							4	2
谷山							4	2
桜島							4	2
吉田				[6/20] 22:40			4	2
郡山							4	2
松元							4	2
喜入				[6/21] 5:00			4	2

ー ポイント4 ー

ご家庭等での災害への備え

(災害時にとるべき避難行動)

“もしも”に備える「家庭での備蓄」

能登半島地震では、道路寸断による物資輸送(食糧や生活用品)の遅れやライフラインの寸断(トイレや洗濯等の生活用水の不足)が発生しており、備蓄の重要性が高まっています。

備蓄品(お家に備えておくもの)

- ☐ 飲料水(1人1日3リットル)
- ☐ 食糧
- ☐ 卓上カセットコンロ(ガスボンベ)
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 生活用品(ティッシュやポリタンクなど)



飲料水や食糧などは、最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄が望ましいです。

非常持出品(避難の際に持ち出すもの)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 衣類・タオル | ☐ <u>常備薬</u> |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ レインウェア |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 電池・携帯充電器 |
| ☐ 救急用品 | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |

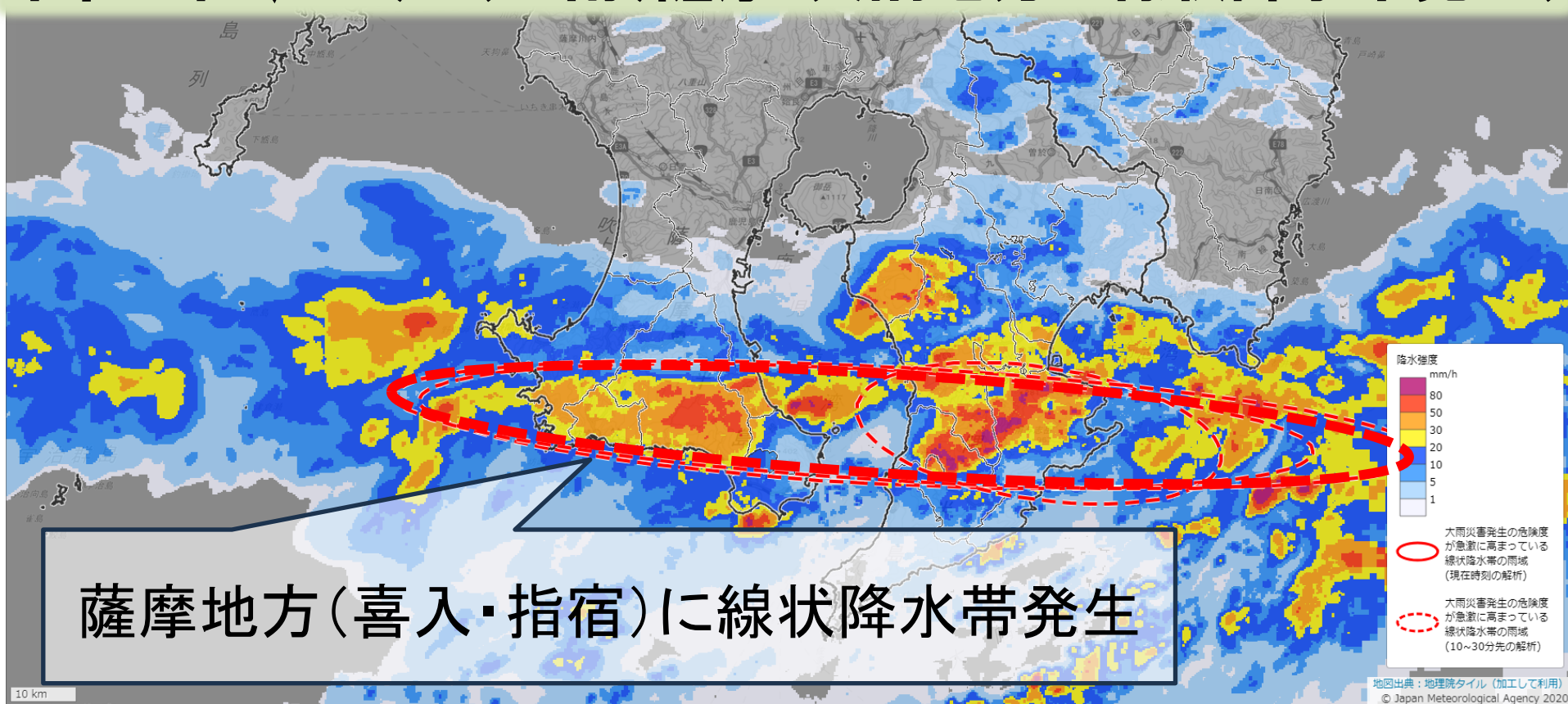
ミルクや離乳食、オムツ、生理用品など、家族構成に合わせた備蓄・非常持出品を準備しましょう。

線状降水帯について

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される強い降水をとまなう雨域のこと。

令和6年6/21(金)の雨(薩摩・大隅地方に線状降水帯発生)



線状降水帯に関する情報①

「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」

必ずしも線状降水帯が発生するわけではないが、
線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性が高い。

⇒ 大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことが目的

線状降水帯に関する情報①

「顕著な大雨に関する気象情報」

大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報

この情報は警戒レベル4相当以上の状況で発表される。

⇒危険な場所にいる方は避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとることが大切

南海トラフ地震について

南海トラフ地震について

過去の事例を見てみると、これまで100～150年の周期で大規模な地震が発生しており、地震調査研究推進本部の長期評価によると、マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は80%程度（令和7年1月1日現在）とされています。

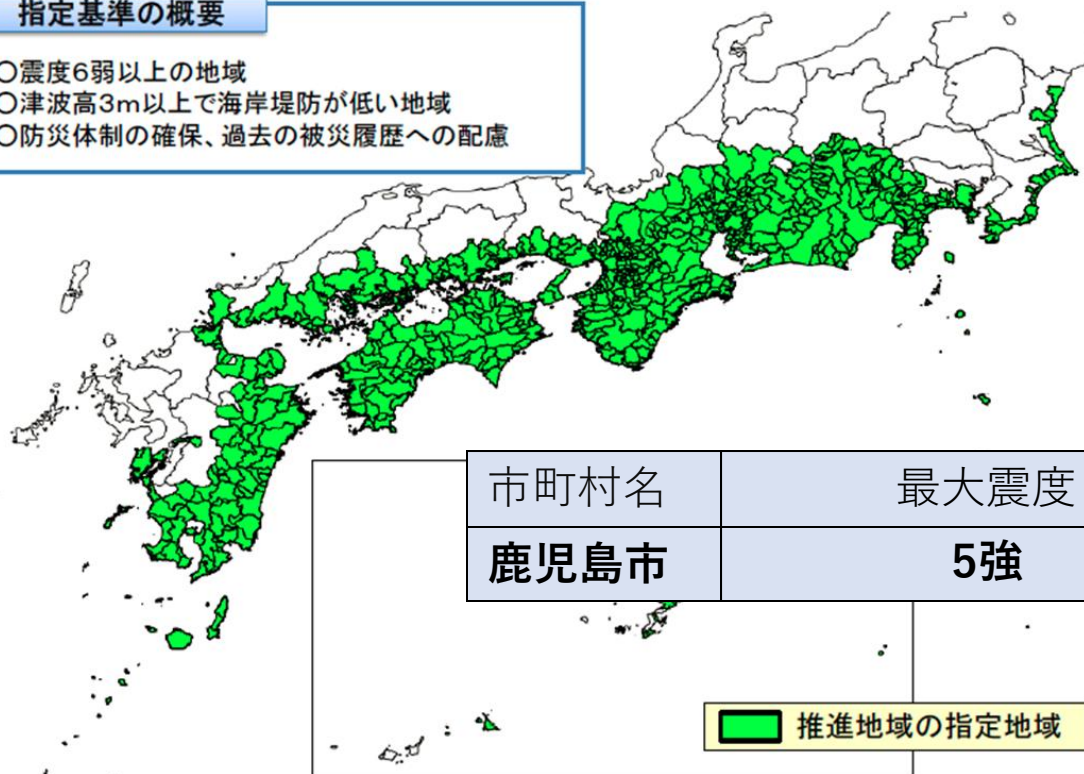
南海トラフ地震防災対策推進地域の指定

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

(鹿児島市該当)
1都2府26県707市町村

内閣府による想定
(南海トラフ地震)

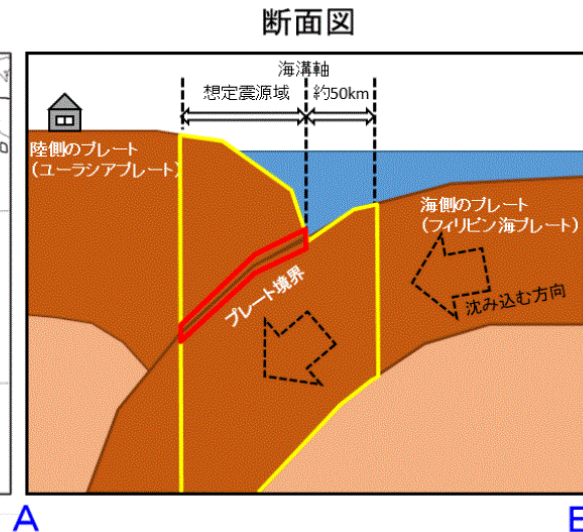
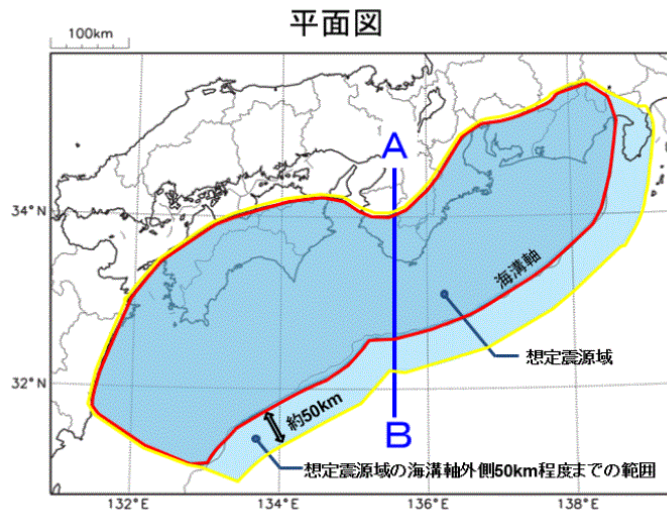


市町村名	最大震度	最大津波高【m】
鹿児島市	5強	4

南海トラフ地震臨時情報について①

【南海トラフ地震臨時情報】

	発表基準
巨大地震「警戒」	・想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震「注意」	・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合



南海トラフ地震臨時情報について②

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら何をすればいいの？

地震発生から 最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	南海トラフ地震臨時情報 (調査終了)
(最短) 2時間程度	・ <u>日頃からの地震への備え</u>の再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 ・ 地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難 	・ <u>日頃からの地震への備え</u>の再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 	・ 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 
1週間(※)	・ <u>日頃からの地震への備え</u>の再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備	・ 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 	
2週間	・ 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。		

「あれっ停電？」

と思ったら...



まずは、停電情報を確認しましょう！

**九州停電
情報提供
アプリ**

24時間対応

**チャット
受付**

24時間対応

**停電情報
自動応答
サービス**

24時間対応



停電情報は当社ホームページでも確認いただけます。



台風・地震・集中豪雨等に備えましょう！

●停電への備え

強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかりと固定しましょう。
普段から分電盤の位置を確認しておきましょう。

●災害が起きたら

切れた電線は感電のおそれがあり大変危険です。
絶対に触らず九州電力送配電へご連絡ください。
濡れた電気器具、コードは漏電や火災の原因となります。

停電・災害時に必要なもの(例)

- | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ LEDランタン | ☐ LEDライト | ☐ 防災ポーチ | ☐ ホイッスル |
| ☐ 乾電池 | ☐ スマートフォン | ☐ 充電器 | ☐ ポリ袋 | ☐ 新聞紙 |
| ☐ 食料品 | ☐ 飲料水 | ☐ 食品用ラップ | ☐ ウェットティッシュ | |
| ☐ 雨具 | ☐ 防寒具 | ☐ タオル | ☐ 衛生用品 | ☐ 口腔ケア |
| ☐ 携帯トイレ | ☐ 救急用品 | ☐ お薬手帳 | ☐ 薬 | ☐ 筆記用具 |
| ☐ ヘルメット | ☐ 軍手(グローブ) | ☐ ガムテープ | ☐ 現金(硬貨) | ☐ 身分証明書 |

九州電力送配電

💡 停電情報に関するサービス



九州停電情報提供アプリ | 「九州エリアの停電・復旧見込み情報」をスマホでいち早くお知らせします

もしもの停電、備えて安心。

- 登録エリアの停電情報などをプッシュ通知でお知らせ
- 最新の停電・復旧見込み情報をマップなどで確認
- 詳細な停電・復旧見込み情報をテキストで確認

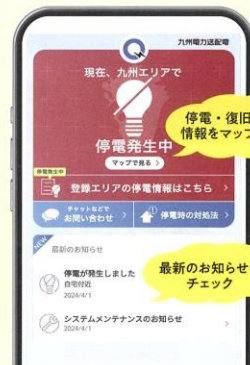
アプリでも下記の「チャット受付」・「停電情報自動応答サービス」をご利用いただけます

- 対象地域：九州電力送配電株式会社が電気をお届けしている地域です。
- 利用料金：無料。(ご利用時に発生する通信料はご利用者の負担です。)

まずは無料アプリをダウンロード
お手持ちのスマホで、2次元コードからアクセス



アプリの詳細はホームページをご覧ください



チャット受付 | 停電時に「チャット」でお問い合わせいただけます。
電柱・電線などの設備に関するトラブルもお問い合わせいただけます。

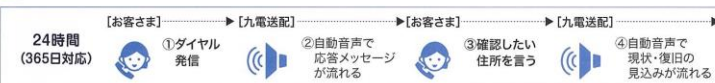
便利・簡単・安心！ /

- お電話が繋がりにくい状況でも、速やかにつながる！
- 対話形式でスムーズにやり取りができる！
- 写真で正確に状況を伝えることができる！

チャット受付：24時間(365日対応)



停電情報自動応答サービス | 専用ダイヤルに電話していただく停電情報や復旧見込みを自動音声でお答えします。



停電情報自動応答
専用ダイヤル

0120-426-305
(福岡県・佐賀県・長崎県)

0120-426-306
(大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県)



※その他お問い合わせがございましたら、九州電力送配電の配電事業所へご連絡ください。

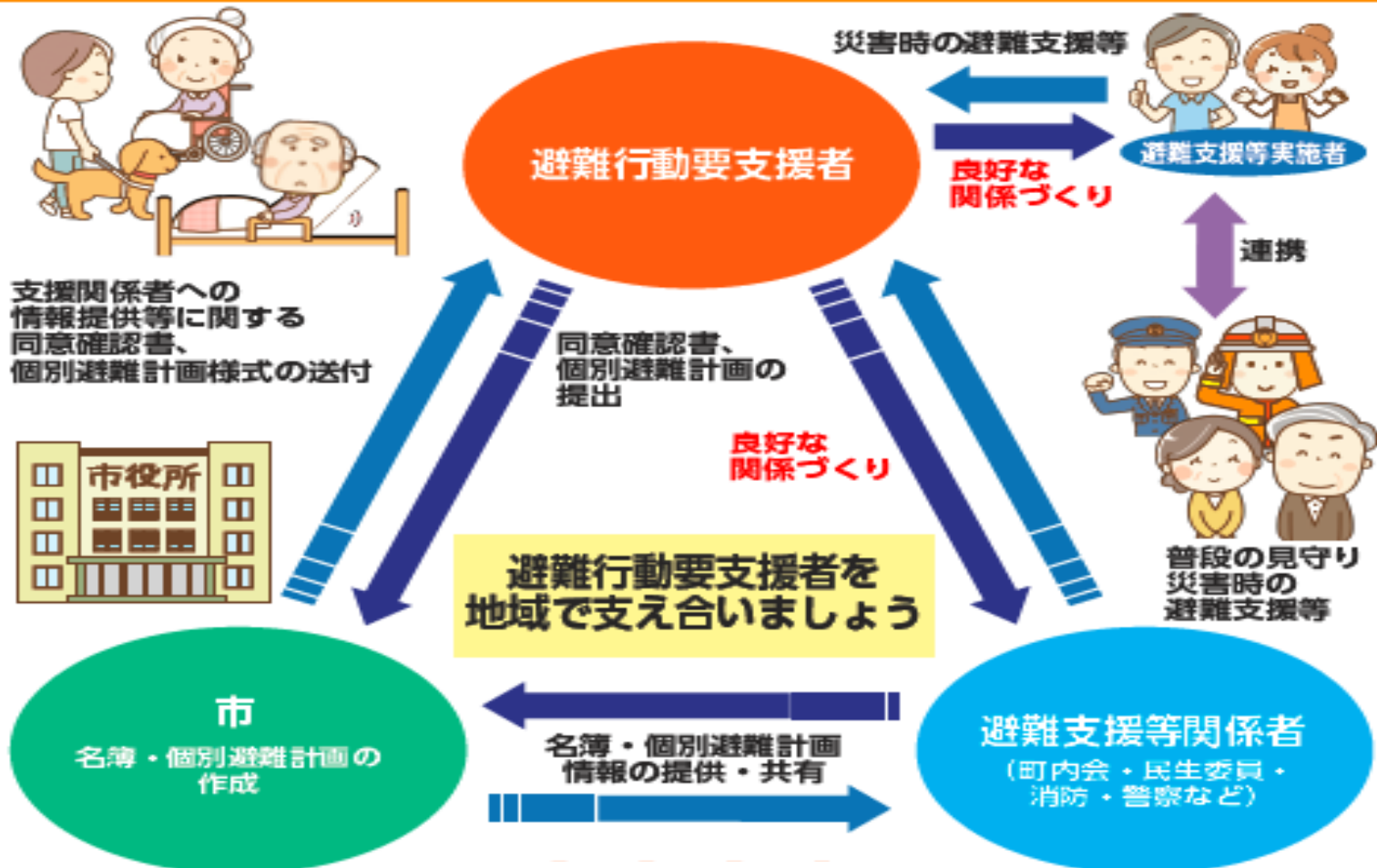
2 令和7年度の取組

(1) 避難行動要支援者制度

避難行動要支援者避難支援等制度

避難行動要支援者避難支援等制度は、要介護者や重度の障害者など災害時に支援を必要とする人に対して、町内会や民生委員、隣近所の人たちなど地域が連携して支えあう仕組みです。

制度のイメージ図



避難行動要支援者の対象範囲

- ①要介護3以上の認定を受けている者
- ②身体障害者手帳1級・2級を所持する者
(心臓・じん臓機能障害のみの者を除く)
- ③療育手帳A1・A2を所持する者
- ④精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者
- ⑤市の障害福祉サービスを受けている難病患者等
- ⑥前各号以外の者で、市長が避難支援等の必要を認めたもの

※原則として居宅生活者が対象

※①～⑤以外の方で、自分で安全な場所に避難できる方は対象とはなりません

※市で把握することができる①～⑤の事由については名簿に記載されます

避難行動要支援者の特徴

- ①災害の危険を察知することが困難である。
- ②危険が迫っていても助けを求めることが困難である。
- ③危険を知らせる情報(避難情報など)を受け取ることが困難である。
- ④危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

支援のポイント

●誘導の基本

避難誘導の際は、事前に避難所への安全な複数の避難経路を把握し、避難行動要支援者それぞれの特性を理解した上で支援しましょう。

●寝たきり高齢者の場合

ひとりでの支援が難しい場合は、隣近所や町内会・自主防災組織などで協力し、担架や毛布などを使って避難を手伝いましょう。



●目の不自由な人の場合

●誘導する人のひじの少し上をつかんでもらいます。その際、誘導する人は、白杖の邪魔にならないように気をつけましょう。



●階段などの段差がある場合は、階段の直前でいったん止まり、段差があることと、上りか下りかを伝えます。誘導する人が一段先を歩くようにし、上りきったり、下りきったりしたときも、そのことを伝えましょう。

●危険な場所がある場合は、その状況を具体的に伝え、一番安全な方法で誘導しましょう。

◆個別避難計画について

・避難行動要支援者名簿に記載された要支援者それぞれの状況に応じて、避難支援者や予定避難場所、避難誘導時の留意事項などを記載した計画

・避難行動要支援者数	12,723人
名簿提供に同意	4,245人
<u>個別避難計画作成済</u>	<u>2,997人</u>

令和7年度は、8月頃、市が対象者へ名簿提供の同意確認の書類などの郵送を予定しています。
調査結果を年度末に送付予定です。

※ 皆さまのご協力を宜しくお願いします

名簿と個別避難計画などの情報は、本人の同意を得て、町内会や民生委員、消防、警察などの『避難支援等関係者』へ情報が提供され、平常時の見守り活動や、個別避難計画の作成支援などに役立てられます。なお、災害時は、同意の有無に関わらず提供され、安否確認などに活用されることになります。

〇〇町内会 避難行動要支援者名簿情報 兼 個別避難計画情報【取扱い注意】

- この名簿には、災害時の避難行動要支援者として、平常時からの情報提供に同意された方が掲載されています。大切な個人情報ですので、コピーや目的外の利用は禁止します。
- 災害が起こりそうな時や実際に災害が起こった時に、誰と・どこに・どのように避難するかなどの情報を平常時から避難支援等関係者と共有することで発災時の円滑かつ迅速な避難支援等の実施に結びつくため、以下の通り情報提供させていただきます。

令和〇年〇月〇日発行

No.1	カゴシマ タロウ 鹿児島 太郎 S50.5.5生	住所	吉野町1234		性別	男	血液型	A	TEL(自宅)	099-000-0000		(FAX)	099-123-4567		TEL(携帯)	090-1111-2222		同意の有無	
		住居の種類	一戸建て(2階建て)			世帯状況	ひとり暮らし		自宅周辺で心配される災害		土砂災害				町内会名	吉野中央		○	
		支援を必要とする事由 要介護3以上																	自由記入欄
		避難時に配慮すること 耳が聞こえない・聞こえにくい																	
		避難支援等実施者	①	(氏名) 鹿児島 一郎			(続柄)	長男	(住所)	鹿児島市山下町9番9号				(TEL)	080-7777-6666				
			②	(氏名) 防災 良子			(続柄)	長女	(住所)	鹿児島市吉野町3256-3				(TEL)	090-0000-4444				
		避難場所	〇〇公民館					避難方法	避難場所まで移動し10分程度かかる										
		緊急時の連絡先	(氏名) 鹿児島 一郎				(続柄)	長男				(住所)	鹿児島市山下町9番9号				(TEL)	080-7777-6666	
その他	お薬手帳、血圧の薬を持って避難／〇〇病院へ通院																		
No.2	カゴシマ ハナコ 鹿児島 花子 S55.2.3生	住所	吉野町9999		性別	女	血液型	B	TEL(自宅)	099-000-0000		(FAX)			TEL(携帯)	090-5555-2222		同意の有無	
		住居の種類	集合住宅(居住階3階部分)			世帯状況	高齢者のみ		自宅周辺で心配される災害		土砂災害、洪水等				町内会名	吉野中央		○	
		支援を必要とする事由 身障1.2級																	自由記入欄
		避難時に配慮すること 杖・歩行器使用／言葉や文字の理解が難しい																	
		避難支援等実施者	①	(氏名)			(続柄)		(住所)					(TEL)					
			②	(氏名)			(続柄)		(住所)					(TEL)					
		避難場所	〇〇公民館					避難方法											
		緊急時の連絡先	(氏名) 鹿児島 二郎				(続柄)	長男	(住所)	始良市1234				(TEL)	080-8888-6666				
その他	外出時は見守りが必要																		

サンプル

いざという時に助け合うことができる地域へ

- 地域で日頃の見守りや訓練を実施
- 災害発生やそのおそれがある場合、名簿や個別避難計画を活用し、避難支援や安否確認を実施



2 令和7年度の取組

(2) 防災ラジオ

中央・谷山・伊敷・吉野地区のみ

◆防災ラジオ

「鹿児島市防災ラジオ」の概要

災害時の避難情報等を自動でお知らせ

鹿児島市防災ラジオは、大雨や地震などの災害の際に、市が発令する避難情報など、フレンズFM（76.2MHz）の電波を利用してお知らせする緊急放送を、自動的に最大音量で受信するラジオです。

（ラジオを聴いていなくても、待機状態にしておくことで緊急放送を自動受信します）



便利機能

- ① 停電時自動点灯
- ② 録音機能付き
- ③ コンパクトサイズ
（縦5.6cm、横20cm、高さ9.8cm）

◆防災ラジオ

対象者・価格

対象となる方	価格	提供数量
市内在住の個人（戸別受信機貸与対象の旧鹿児島市市域在住の方を除く。）	1,000円	105台
事業所等（町内会を含みます。）	10,000円	5台

※申込者多数の場合は、抽選となります。

申込み等

申込期間：令和7年5月9日（金）～7月8日（火）

申込方法：申込用紙・本人確認書類

（危機管理課へ持参・郵送、各支所 総務（市民）課へ持参）

発送：令和7年8月下旬～

※ 抽選の場合、避難行動要支援者に該当する方へは、優先的に提供します

2 令和7年度の取組

(3)自主防災組織

自主防災組織とは

組織

- 自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方のもと、自主的に地域の防災活動を行っている組織です。

設置単位・運営

- 主に町内会や自治会等の規模で、地域に住んでいる住民により、設置・運営されています。

活動内容

- 平常時は、地域住民の防災意識の高揚や防災訓練の実施のほか、災害発生時には、地域内の被害情報の収集、伝達や住民の避難誘導など、地域の特性に応じた活動を行っています。

活動における男女共同参画

- 過去の災害では、様々な場面で女性の参画が十分でなく、男女のニーズの違いなどが配慮されないといった課題が生じました。活動にあたっては、役員に女性が含まれるようにすることや、炊出し等の特定の役割が片方の性に偏ることがないように男女共同参画の視点が重要です。



自主防災組織 防災活動の一例

地域住民が連携して災害に備え、災害発生時にはお互いに助け合い、地域の被害を最小限に抑えるためには、平時から防災活動を実施し備えることが重要です。

地域防災マップの作成

地域の災害リスクを把握し、避難経路や避難場所を明示した防災マップを作成するもの

- Point
- 👉 地域が抱える災害等のリスクを共有できる
 - 👉 安否確認訓練等に活用できる
 - 👉 効果的な避難計画を立てるための基礎資料になる



危険個所の防災点検

- 地域内の危険個所を点検し、改善策を講じリスクを低減するもの

- Point
- 👉 危険箇所に対する具体的な安全対策を実施できる
 - 👉 住民が安心して生活できる環境を整える
 - 👉 点検を通じて住民の防災意識を高める



炊き出し訓練

- 災害時に炊き出しを行うための訓練を実施するもの

- Point
- 👉 災害時に必要な食料供給の方法を確認できる
 - 👉 住民同士の連携が強まり、災害時の協力体制が整う



安否確認訓練

- 災害時に住民の安否を確認するための訓練を行うもの

Point

- ☞ 災害時に迅速に住民の安否情報を収集できる
- ☞ 住民が安心して生活できる環境を整えることができる
- ☞ 地域の連携が強まり災害時の対応がスムーズになる

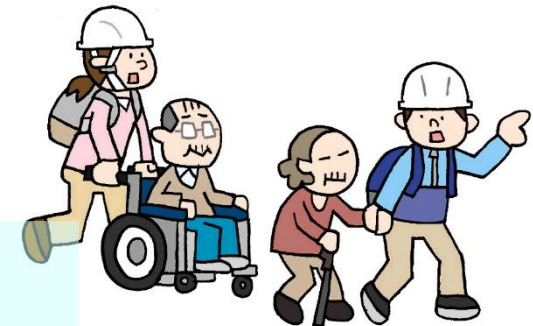


避難行動要支援者の支援活動

- 高齢者や障害者などの配慮が必要な方を支援するための訓練等を行うもの

Point

- ☞ 支援活動を通じて支援者のスキルが向上する
- ☞ 要支援者とのコミュニケーションが深まり、信頼関係が築ける
- ☞ 地域全体で要支援者を支える体制が整う



自主防災組織を支援します！

支援 助成制度①

活動助成	自主防災組織が防災や減災に係る活動を実施する場合	上限2万円 (年2回)
------	--------------------------	----------------

【変更点】（6月以降の申請から適用）

申請にあたり、下記5つの訓練のうちいずれかを実施すること。

- ①防災マップの作成
- ②避難行動要支援者の支援活動
- ③危険個所の防災点検
- ④安否確認訓練
- ⑤炊き出し訓練

なお、上記に加え、自主防災組織独自の訓練と組み合わせて実施する場合、独自訓練の経費も助成対象になります。

自主防災組織を支援します！

支援 助成制度②

鹿児島市では、自主防災組織が整備する防災資機材や防災活動に係る経費を助成しています。

資機材整備補助	自主防災組織を結成後、はじめて防災資機材を整備する場合（1回のみ）	上限10万円
	自主防災組織を結成後、上記の補助を受けてから5年以上経過している組織が防災資機材を整備する場合（1回のみ）	上限7万円

◆資機材整備補助金の対象となる資機材の一例



自主防災組織を支援します！

支援 地域防災推進指導員による結成や活動支援

自主防災組織の活動内容や防災資機材、支援制度等を紹介するリーフレットを作成しました。



01 地域防災マップの作成

地域の災害リスクを把握し、避難経路や避難場所を明示した防災マップを作成します。

【作成の流れ】

事前準備

- ・地域の地図を印刷
- ・避難経路の確認
- ・地域の防災に必要な情報を収集 など

実施当日

- ・持ち寄った情報を意見交換し必要な情報を整理
- ・地図上に書き込む
- ・書き込んだものをコピーし地域で共有
- ・マップに盛り込む情報の一例
- ・避難所等の施設
- ・危険な建物や場所
- ・避難経路
- ・声掛けが必要な方の情報 など

ワンポイントアドバイス

色分けや写真を用いて視覚的に分かりやすく！

準備するモノ

- ☐ 地域福祉の地図
- ☐ カメラ（写真）
- ☐ 筆記用具
- ☐ 色付きペン
- ☐ カラーペーパー（ドットシート） など

●地図は「かごしまマップ」を活用すると便利です！

かごしまマップ | 検索

02 危険箇所の防災点検

地域内の危険箇所を点検し、改善策を講じます。

【点検の流れ】

事前準備

- ・点検場所の選定
- ・チェックリストの作成 など

実施当日

- ・グループごとに現場確認を実施
- ・記録をとる
- ・必要に応じて写真、草刈り等の措置
- ・点検結果を共有し対応策を検討する

点検場所の一例

- ・急傾斜地（崖地）、堤防、ブロック塀等の状況
- ・倒壊する可能性がある建造物や看板の状況
- ・防火、防災資機材 など

ワンポイントアドバイス

真鍮は熱中症対策を忘れずに！

準備するモノ

- ☐ ヘルメット
- ☐ ヘッドライト
- ☐ 筆記用具
- ☐ カメラ など
- ☐ 軍手
- ☐ 記録用紙

●点検する場所の特性に合わせたモノを準備しましょう。

03 避難行動要支援者の支援活動

高齢者や障害者などの配慮が必要な方を支援するための訓練を行います。

【訓練の流れ】（例：避難訓練の場合）

事前準備

- ・位置、要支援者の状況等の確認
- ・シナリオの作成
- ・役割分担 など

訓練当日

- ・シナリオに沿って進行
- ・情報伝達
- ・避難経路
- ・訓練後、反省点を共有しフィードバック など

注意点等

- ・必要とされる支援や配慮について事前に確認
- ・想定される災害に応じた計画立案
- ・個人情報を取り扱う際は十分注意

ワンポイントアドバイス

写真と差替え（予定）

写真と差替え（予定）

ワンポイントアドバイス

地域と要支援者の良い関係性を築きましょう！

準備するモノ（例：避難訓練の場合）

- ☐ 防災マップ
- ☐ トランシーバー、拡声器
- ☐ 担架、リニア、車いす など

●要支援者の状況は地域によって様々で、必要とされる支援活動は多岐にわたります。

●想定・計画の立案など、ぜひ危機管理課・地域防災推進指導員までご相談ください。

04 安否確認訓練

災害時に住民の安否を確認するための訓練を行います。

【訓練の流れ】

事前準備

- ・連絡網、安否確認体制の作成
- ・役割分担
- ・シナリオの作成 など

訓練当日

- ・シナリオに沿って進行
- ・情報伝達
- ・訓練後、反省点を共有しフィードバック など

注意点等

- ・地域住民同士が顔見知りになっておくことが重要です

ワンポイントアドバイス

写真と差替え（予定）

ワンポイントアドバイス

地域で安否確認のルールを共有しましょう！

準備するモノ

- ☐ 防災マップ
- ☐ トランシーバー、拡声器
- ☐ 懐中電灯（夜間）
- ☐ ヘルメット
- ☐ 安否確認グッズ（タオル・目し など）

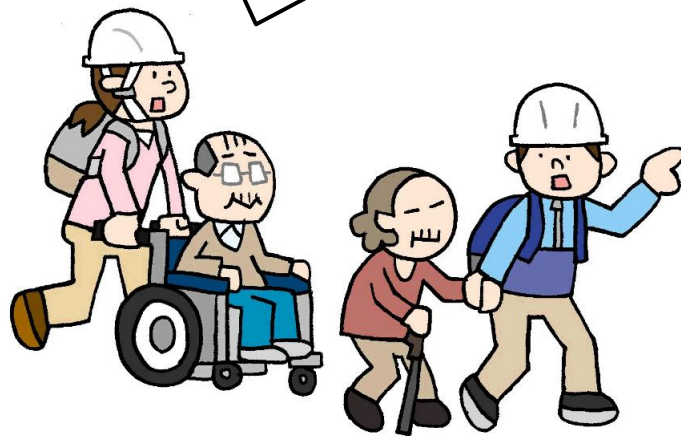
●安否確認グッズは、遠くからでも目立つ色やデザインのものを選びましょう。

支援 地域防災推進指導員による結成や活動支援

鹿児島市では、自主防災組織の結成の進め方をはじめ、防災研修会や防災訓練などの活動計画の策定について、地域防災推進指導員による支援を行っています。



防災に関する勉強会や防災訓練を実施したいけど、
どうすればいいの？



どのような防災資機材を
整備すればいいの？



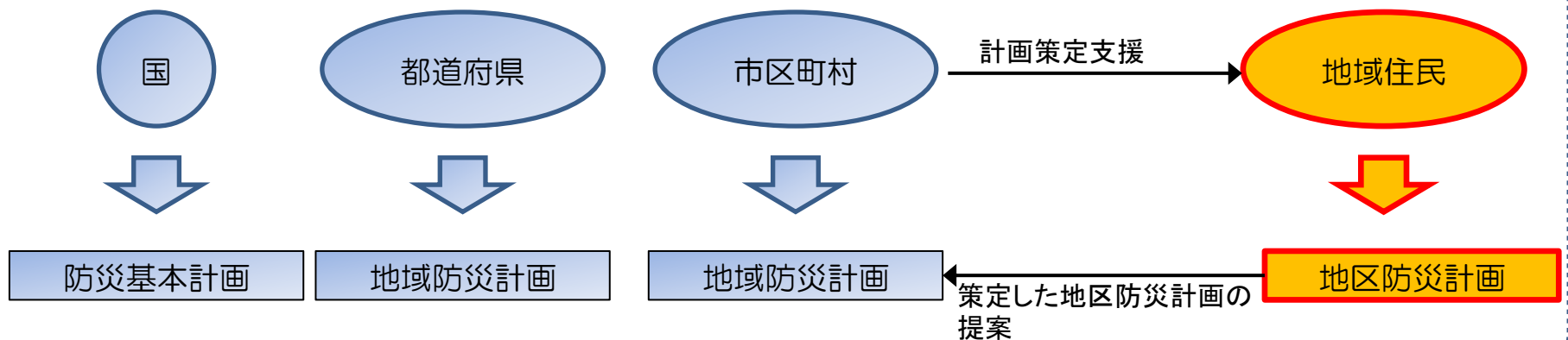
自主防災組織を支援します！

支援 地区防災計画の作成支援

地区防災計画とは

- 地区住民等によって、各地区の特性や想定される災害等に応じて、自発的に行われる防災活動に関する計画です。
- 東日本大震災において、自助・共助及び公助が連携して、初めて大規模広域災害後の災害対策が上手く機能することが強く認識されたことに伴い、平成25年の災害対策基本法一部改正で「地区防災計画制度」が創設されました。

全体像のイメージ



自主防災組織を支援します！

作成事例



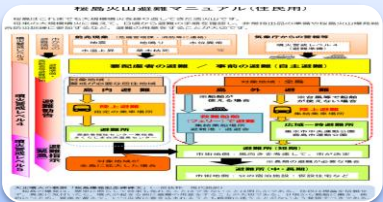
喜入一倉地区

- 策定：平成28年度
- 特徴：中山間地域における限定的な水害及び土砂災害への対策



八幡校区

- 策定：平成29年度
- 特徴：地区内企業との連携、桜島噴火時の大量降灰対策、地震に伴う津波や液状化への対策



桜島（各校区コミュニティごとに策定）

- 策定：平成30年度
- 特徴：コミュニティ協議会と自主防災組織の連携による計画策定、桜島噴火時の避難行動要領

- 日頃から地域で防災について考えるため
- 地域の特性に応じた備えを行うため
- いざというとき、地域で助け合うため



地区防災計画は有効
です！

地区防災計画の作成支援も行っておりますので、ご不明な点が
ありましたら、危機管理課にご相談ください。

自主防災組織に関する相談先

- Q どうすれば組織を結成できるか
- Q どのような活動をすればよいのか
- Q 申請の方法が分からない

地域防災推進指導員が個別に地域を訪問し、自主防災組織の活動支援などを行っていますので、お気軽にご相談ください。

鹿児島市ホームページにも、自主防災組織に関する情報を掲載していますので、ご覧になってください。

鹿児島市 自主防災 共助



★お問い合わせ先★

鹿児島市危機管理課

099-216-1213